

雪と戦っている雪国の方々には失笑事でしょうが、寺田縄では珍しい光景です。積雪量を測定するのに苦労するほどの僅かな積雪がありました。小学生たちは、小さな雪のボールを宝物のように手にしながら、学校へ向かいました。 神奈川県平塚市、雪の朝の光景を紹介します。 (午前6時50分)



平屋の屋根に
「うおー 雪だ」
思わず声が出てしまいました。
(2Fの窓から)



積雪量は場所が決まります。
車の上の積雪。



庭の植え込みには、ご覧の通り雪が見えます。
「雪が積もる」とは、言い難いですよね。

耕耘を待つ稲株。
春先に耕され、水田となります。



雪が明るく光ります。





椿も雪化粧しました。
雪、道路にはありません。

積雪を見せるベンチ。



サクラ木
の樹間からの朝日です。



花菜ガーデン。フェンス越しの雪景色です。



花菜ガーデン前の広場です。



花菜ガーデン 入り口 綿帽子が並びます。



広い畑地です。例年「落花生」を栽培しています。

今朝は地温の違いでしょうか、土の部分と薄雪に覆われた所とに別れていました。

2月14日の天気は、全国的に南から強い風が吹いて、大荒れの天気となり、気象庁は関東、東海、北陸、中国地方で「春一番」が吹いたと発表しました。南からの暖かい空気が気温を押し上げ、午後3時までの東京都心の最高気温は23℃を記録し、行き交う人たちの中には「半そで」も目立ち、東日本や北日本では4月から5月並の気温となりました。

15日は一転、午後から寒気が入り込み、夜になって気温が急激に低下し、湘南地方の寺田縄地域も気象の激変です、16日の朝にはうっすらと雪、銀世界(?)となりました。